

しなののうた

朝の空 人声繁く聞こえてきて 日食の刻迫りくるなり



杉田小百合

しなののうた

わが内に魂宿る境地にて雑念のすべて拭い去りくる

杉田小百合



しなののうた

ひんやりと暗き風受け太陽の欠け始まりてシヨ一の幕開く



杉田小百合

しなののうた

木漏れ日に三日月模様揺らめいてわがブラウスも躍り始めり

杉田小百合



しなののうた

人間の及ばぬ天体ショー
ー仰ぎ脳細胞のリセットされり



杉田小百合